

第四十五回帝國議會  
衆議院

破產法案外一件(破產法案)委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十一年三月六日午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

|        |        |    |        |
|--------|--------|----|--------|
| 委員長    | 前田 米藏君 | 理事 | 野田文一郎君 |
| 理事     | 麓 純義君  | 理事 | 野田文一郎君 |
| 理事     | 渡邊 昭君  | 理事 | 野田文一郎君 |
| 野副     | 重一君    | 理事 | 野田文一郎君 |
| 福井     | 甚三君    | 理事 | 野田文一郎君 |
| 野村     | 嘉六君    | 理事 | 野田文一郎君 |
| 出席政府委員 | 左ノ如シ   | 理事 | 野田文一郎君 |

司法次官 山内確三郎君  
司法省民事局長 池田寅二郎君  
司法省參事官 三宅正太郎君

破產法案

○前田委員長 只今カラ開會致シマス、破產法ノ大體ノ質問ヲ終リマシテカラ、逐條ノ質問ニ這入ッテ、ソレカラ和議法ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

○横山委員 先ヅ第一ニ御尋ラシタイノハ、此破產法ノ規定ヲ見マスルト、洵ニ緻密ニ、而モ進歩致シタル規定ガ澤山アルヤウデアリマスガ、私ノ伺ハント欲スル所ハ、破產ヲ總テ小破產ト否トヲ問ハズ、區裁判所ノ管轄ニ屬サレタト云フ事ニ付テ、聊カ危險ノ感ヲ持ツノデアリマシテ、破產ノ效果ト致シマシテハ、色々様々ナ重大ナル問題ガ起ッテ參リマシテ、人ノ民權ニモ關係ヲ持ツト云フヤウナ事ガ澤山アルノデ、而シテ司法省ノ案ハ、區裁判所ノ管轄ニ屬セラレタ所以ノモノハ、多クノ執行手續ナド、云フモノハ、總テ區裁判所ニ於テ解決サレテ來テ居リマスカラ、其弊ニ倣ハレタモノト思ヒマス、破產ハ申ス迄モナク、破產ノ決定ヲ致シマス迄ハ、他ノ民事若クハ商事ノ如キ實體ニ這入ッテ、審判スルト云フ程ニモナリマセヌケレドモ、何ト致シマシテモ、支拂能力ガ完結致シテ居ルカト云フ迄ハ、普通訴訟ノ事件ト同ジヤウニ、内容實質ニ入ッテ審査ヲ遂ゲデノ上ノ決定トナリマスカラ、餘程單純ナルモノ、デ執行手續ガ違フト思ヒマス、此點ハ如何デスカ

○山内政府委員 此破產事件ヲ區裁判所事件ト致シマシテ趣旨ハ、唯タ執行事件トシテ、區裁判所ガ取扱フテ居ルカラト云フヤウナ理解カラノミ來タノデハ、ナインデアリマス、勿論矢張一種ノ廣イ強制執行デアルカラト云フ趣旨モ這入

第五類第二十二號

破產法案外一件委員會會議錄 第二回

大正十一年三月六日

ッテ居リマスケレドモ、今日ノ破產事件ノ取扱ヲ見ルト云フト、頗ル亂雜ニ涉ッテ居ルデアリマス、其亂雜ニ涉ッテ居ル所以ノモノハ、之ヲ合議裁判所ニ於テ破產事件ヲ取扱フ結果ト考ヘテ居ルデアリマス、一體此特ニ專門ノ事件ト云フモノハ、ドウシテモ獨リ專門ノ判事ノ執務ニ委セルコトガ、極メテ必要デアアルデアリマス、故ニ強制執行事件ハ勿論、非訴事件、戶籍ニ關スル事件、不動産登記ニ關スル事件、殊ニ戶籍事件ニ至リマス、民法ノ中最モ難解ニ屬スル所ノ、親族相續ニ關スル法律デアリマスカラ、此區裁判所ノ事件ニナッテ居ル、而シテ區裁判所事件ニナッテ居ル結果、戶籍事務ナリ、或ハ執行事務ナリ、非訴事件事務ナリ、比較的一系索レザル處理ヲ爲スコトヲ得テ居ルト云フコトハ事實デアリマス、強制執行問題ニ至リマス、地方裁判所ノ判事スラ控訴院ノ判事等ニ至、テハ頗ル、大審院ニ至ッテハ全ク知識ガ足ラナイ、足ラナイト云フコトハ、殆ド無イヤウナコトニナッテ居ルデアリマス、ソレデ破產法ノ殊ニ面倒ナ案、最モ運用ニ付テムツカシイ事柄ハ、民法其他トノ關係、破產ノ決定ヲ爲スコト云フヨリハ、破產法ヲ運用シテ秩序能ク此法案ヲ取扱フテ行クト云フコトガ、非常ニ必要デアアル、然ルニ其取扱ニナル破產主任官ト云フモノ、ガアリマシテ、其主任官ハ判事ヲ以テ之ニ當テ、其判事ハ勿論他ノ事件ニ關係致シテ居ル、サウ云フ譯デアリマスカラ、好イ加減ナ事ヲヤッテ居ルト云フコトガ暴露サレルノモ甚ダ遺憾デアリマスガ、東京地方裁判所既ニ破產事件ト云フモノハ實ニ其取扱ガ亂雜デ、何日迄モ終結シナイト云フヤウナ狀態デアリマス、サウシテ之ヲ主任ノ人ニ聞クト、破產法ノ內容トシテ餘リ分ラナイ、勿論現行法ハ極メテ不備ナ法律デアリマスケレドモ、併ナガラ取扱フテ居ル判例ガアリ、慣習ガアルニモ拘ラズ、破產主任官ト云フモノハ、破產事件ニ付テ趣味ヲ持タナイト云フヤウナ關係モアル——他ノ事件ニ關係シテ居ルト云フヤウナ關係デ、ノミナラズ主任官ハ主トシテ陪席判事デアアル、此陪席判事ト云フノハ、御承知ノ通り判事ノ試験ヲ受ケテ直ニ陪席シテ居ル、即チ判事ノ中ノ幼稚ナ者ガ地方裁判所ノ陪席ニナッテ居ル、此所相當馴レタ上デ、區裁判所ニ行クト云フコトニナッテ居ルデアリマス、是ハ全國總テサウ云フコトニシテ居ル、大體事務ノ處理ノ爲ニ、特別ノ關係カラ餘リ馴レナイ判事ガ區裁判所ニ行ッテ居ルト云フ批難ガアル、是モ將來絕對ニ止メタイト云フ考デ、豫算ノ方デシタカ、刑事訴訟法案ノ時デシタカ明

言致シマシタ、ソレデ破產ニ付テハ專門ノ判事ヲ——詰リ破產專門ノ判事ト云フ者ヲ造ラナケレバ、ドウシテモ事務ヲ取扱ヘナイ、ソレデソレヲ區裁判所事件ニスルト云フコトニシテ、此方面ニ熱心ニ當ルト云フコトニナッタナラバ餘程成績ヲ擧ゲルコト、考ヘテ居ルデアリマス、借地借家調停ニ付テモ區裁判所判事、此所ニモ專門ノ判事ヲ造ラナケレバナラズト云フコトニナッテ居ル、又少年法等ニ付テモ、是モ行政的デアリマスケレドモ、判事ガ餘程多ク關係シナケレバナラズ、是亦サウ云フ專門ノ人間ガ茲ニ出來ナケレバナラズ、是亦サウ云フ專門ノ人間ガ茲ニ出來ナケレバナラズト考ヘテ居リマス、要スルニ此專門ノ仕事ヲサセラルニハ、單獨ノ判事ヲシテ、専心其事務ニ當ラシメルト云フコトノ必要ヲ感ジテ居ルデアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、此破產事件ハ之ヲ區裁判所事件ニスルト云フコトニシタノデアリマス、唯タ或ハ御問ノ趣旨ト關係ハ無イカモ知レマセヌガ、近來御承知ノ通り、徒ニ破產ノ申請ヲスル——債務者ヲ威嚇スルガ爲ニ、破產ノ申請ヲスルト云フコトハ、破產事件ニ付テハ通弊ニナッテ居ル、其關係カラ玆ニ和議法ト云フモノヲ造リマシテ、徒ニ破產ノ申請ヲスルノハ、和議ノ申立ニ依ッテ一方ニ之ヲ止メル、破產ノ宣告ヲ防止スルト云フ途ヲ執ッテ、破產ノ宣告ニイタツラヲ爲サシメナイヤウニシタイト思ヒマス、此和議事件ハ勿論裁判所ノ判事ニ扱ハシメマシテ、地方裁判所デハ宜シクナイト思ヒマス、ソレデ勿論判事タル事ハ、最モ專門ノニシテ、民法其他ノ方面ニ關シテ之ヲ研究スルコト、恰モ戶籍事務ノ如クスルト云フノガ私ノ理想デアリマス、ソレニ依ッテ始メテ破產事件ノ秩序整然トシテ、一系索レザル處理ヲ爲スコトガ出來ルモノト確信シテ居ルデアリマス、區裁判所ノ事件ト致シマシタ趣旨ハ、大體サウ云フ所ニ在リマス

○横山委員 此事務ノ敏活ヲ期スル爲ニ、執行事務ナドヲ區裁判所ノ權限ニ屬セラ、ト云フコトハ、固ヨリ適當ナル規定ト思ヒマス、併シ實際ノ狀態ヲ見マス、執行事務ナドハ大抵區裁判所ナドデハ、吾々ノ眼界ガ狭キ所以カ知リマセヌガ、區裁判所デハ監督書記ト云フモノガアリマシテ、ソレハ大抵シツカリシタ人デ、執行事務ナドハ此人ニ任サレテ居ル、此人ニ聽ケバ活字引ノ如ク、大小ノ問題ハ立ロニ解決スルト云フヤウニ老熟シテ人ガ居リマス、破產事務ト雖モ、成程破產主任官トナルベキ陪席判事ノ如キハ、多ク幼稚ナ人カ知リマセヌガ、斯様ナ補助機關ト云フモノガアレバ、

隨テ事務ヲ進ムル上ニ於テ何等妨ナリノデアリマスノミラズ、成程破産決定セラレタ後ニ於テノ事務デアリマスレバ、ソレハ區裁判所ニ任セテ置テモ差支ナイと思ヒマスガ、破産ノ決定ヲ爲スニ足ルベキ素質ヲ有シテ居ルカドウカト云フコトヲ定ムル前ハ從來ハ、地方裁判所ノ管轄ニ屬セシメテ居リマシタ、合議制單獨制ノ上カラ考ヘテ、尙ホ人ニ依リテハ勿論其實質ヲ定メナケレバナリマセシガ、法規ノ上カラ見テ、單獨制ヨリ合議制ノ方ガ優、テ居ルト云フコトハ推定サレナケレバナラス、其合議制カラ離シテ、或ハ破産ナドハ、小破産ノ方デハ一萬圓以下モアリマスガ、大破産ナリマスト四十萬圓以上云フ如キ、ソレ以上ノ大ナル事件ヲ審判スルコトニナリマシテ、單ニ決定後ノ取扱事務トハ大分違ヒマス、普通ノ民事訴訟ト何等素質ノ異ナル所ハナイヤウニ思ヒマス、其點ニ付テモウ少シ説明ヲ願ヒマス

○山内府委員 私ハ此破産事務ノ最モ困難ナルハ決定後デアルト考ヘテ居ルノデ、其事ヲ申シタノデアリマスガ、此決定ハ要スルニドウ云フコトヲ見ルカト云フト、支拂能力アリヤ否ヤノ問題、之ニ付テ私ノ淺イ經驗カラ見マス、寧ロ大キナ會社ノ破産ナドハ顯著ナコト、ナリ、例ヘバ彼ノ七十四銀行ノ支拂停止ノ事情等ニ至リマスト關係スル者モ多ク、ソレガ支拂停止ノ狀態ニ、陷、テ居ルヤ否ヤハ、大會社ノ事ハヤカマシイ爲ニ、ソレヲ判斷スルニハ困難ヲ見テ居ラスヤウデアリマス、ソレガ少サイ事件トナルト、却テ支拂停止ノ問題ニ付テ色々議論ガ起ルノデアリマス、ソレハ別ト致シマシテ、支拂停止ノ狀態ヲ見ルニ、其破産スレバ破産財團トナル財團ノ狀況ヲ調査スルト云フコトハ、是ハ事案ノ大小ニ依ッテ、必ズシモ區別ノ標準ニナラスト考ヘテ居リマス、而シテ破産決定後ノ仕事ヲ區裁判所ニ於テシ、而シテ決定ダケヲ地方裁判所ニ執行スルコト云フコトデアリマス、決定スル裁判所ト之ヲ執行スル裁判所ハ、破産事務トシテ殆ド同一デナケレバ、餘程困難ナルノミナラズ不可能ト思ヒマス、ソレデ此破産狀態ニ陷、テ居ルヤ否ヤヲ調査スルコトニ付テモ、是ハ通常ノ民事訴訟ノヤウニ、法律關係ガ非常ニ錯雜シテ居ルノデハ、ナイノデ、事實ヲ調査スルニモ、諸般ノ證據ニ依ルコトガ多イノデアリマスカラ、事實ノ調査ハ單純ニ資產ノ狀態如何ノ問題デアリマス、之ニ老練ナル者ヲ充テルト云フコトニスル以上、寧ロ地方裁判所ニ於テ審議ヲ經テアルヨリハ、區裁判所ニ依ッテヤツタ方ガ、此意味ニ於テモ迅速ニ決定ガ出來ルト云フ考デアリマス、形式コソ三人ノ判事ガ居レバ宜イガ、併ナガラ老練ナル區裁判所ノ判事ニ之ヲ取扱ハシムルト云フコトハ、私ハ決定スルニ付テモ餘程宜シイト思ヒマス、只今横山君ノ御話ニ、考練ナ書記ガ居ルトマデ言ハレマシタガ、昔ハ知ラズ

今日ニ於ケル區裁判所ノ監督判事ト云フモノハ、餘程自ラ調ベテ居リマス、ソレハ老練ナル書記モ居リマスガ、近來裁判所ノ判事自體ガ、段々法律ノ變リニ付テ、書記デハ間ニ合ヒマセスカラ、判事ガ研究シテ、戶籍其他ノ事ニ付テモ非常ニ裁判官ガ熱心ニ研究シ、而シテ極メテ成熟シテ居リマス、ソレハ地方裁判所ノ方デハイカナイ、ドウシテモ破産判事ト云フモノヲ造ラナケレバ目的ヲ達セヌト云フコトニナリマス、此事務ト決定ヲ引離シテ行クト云フコトハ不可能デアリ、殊ニ決定ト雖モ擔當ノ判事ニ於テ之ヲ審査スルコトハ、私ハ困難ト考ヘテ居リマス、之ヲ主トシテ區裁判所ノ事件トシテ非常ニ成績ヲ擧ゲテ居ルト云フ實狀ヲ見テ、私ハ適當ト考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニ區裁判所トスルノハ、事務ノ取扱ノ迅速ト支拂能力ヲ見ルニ付テモ、自ラ專門的眼孔ヲ以テ見ルト云フ方ニナルノガ、適當ト考ヘテ居ルノデアリマス

○横山委員 サウスルトモウツ確メテ置キマス、地方裁判所ハ成程大學トカ私立學校ヲ卒業シタ間モ無イ劣等ナ人ガ陪席トシテ居ルト云フ事ハアル様デアリマスケレドモ、普通部長トシテ、ドウシテモ立派ナ人ガ何時モ備、テ居ル、若クハ部長代理ヲスル人モ立派ナ人ガドノ裁判所ニモ備、テ居ラル、様ニ私ハ思フノデアリマス、隨テ豫審判事ガ經驗、智識、學問ノ點ニ於テ劣、テ居リマシテモ、非公式ニ相談スル機關ト云フモノガ自ラアツテ、隨分事務ヲ進行スル上ニ於テ、實際上是ハ妨ナイト思ヒマス、殊ニ又近來區裁判所ノ判事ノ素質ト云ヒマス力能率ト云ヒマスガ、非常ニ落、テ居リマシテ、成程監督判事ヲシテ居ラル、人ノ中ニハ、隨分常識アリテ自分方ノ解決スルコトヲヨウゼシテ、和解ベカリ勸メテ居ルト云フ傾向アル、結局和解ノミヲ勸メテ居ル、事件ヲ裁判所ガ解決スル事ガ出來ヌ、ソレガ爲ニ其判事ガ後ニハ陪席ノ方ニ廻サレテ、地方裁判所ノ豫審判事ヲヤル、地方ノ裁判所ノ豫審事務ガ暇ニナツタト云フ結果トシテ、區裁判所ノ判事ヲ兼務スル、一週間一度位其無能ノ判事ガ擔任シテ居、タ事件ヲ解決スベク、審判ノ衡ニ當ルト云フ奇觀ヲ呈シタ實例モアル、又或裁判所デハ一號、二號三號、三號法廷ト云ヘバ、皆アレカト首肯スルヤウナ判事ノ方ガアル、ドウモ合議法デアリマスレバ、假令幼稚ナ人ガ加、テ居リマシテモ、シカトシタ中心人物ガアツテ、裁判ノ公正ヲ失ハナイノデアアル、隨分區裁判所デハ、今仰シヤツタ陪席ノ幼稚ナル人々ガ居、テ、國民ヲシテ裁判ノ上ニ疑懼ノ念ヲ懷カシメルト云フコトガ幾ラモアル、而シテ現在ノ狀態ニ於テハドウ云フ譯デアリマスガ、此構成人員ノ不足ヲ告ゲテ居ルコトハ間違ナイヤウデス、吾々ノ住ンデ居リマスル廣

島デモ、一ノ支部ヲ置カレマシタ、支部ナドノ人員ヲ見マシテモ、ドチラモ缺ケテ居ルヤウニ思フ、其能力ノ餘リ充實シナイ判事ヲ以テシテモ、構成人員ガ缺ケテ居ルト云フ今日ノ狀態ニ在ル、更ニ優良ノ人ニ補フト云フ事ニ付テハ、實際上極メテ至難ノ事デアラウト思ヒマスガ、ソレハ破産法ガ何時カラ御實施ニナルカ存ジマセマスガ、御實施ニナルトスレバ、少クトモ裁判所ニ幾人カノ優良ナル判事ヲ、殊ニ專門的ノ智識ノアル判事ヲ、配置スルト云フ御計畫ガ、今日立、テ居リマスガ

○山内府委員 是ハ獨リ破産問題ノミナラズ、此間衆議院ヲ通過致シマシタ借地借家ニ付テモ、特ニ能イ人ヲ配シナケレバナラスト云フコトハ、勿論前次官時代カラ此計畫ヲ先づ定メテ、破産、借地借家ノ法律通過ノ上ハ、勿論今日ノ區裁判所ニ地方裁判所ノ優遇ガ十分出來ルト、專門的ノ者ニ拔ハシメルト云フ計畫ハ確ニ立、テ居リマス、併ナガラ茲ニ一言御參考ニ申上ゲテ置カナケレバナラスノハ、全國ノ區裁判所ノ判事ニ、總テ此破産專門ノ人ヲ置イテ、之ヲ拔ハシメルト云フ考ハ無イノデアリマス、詰リ是ハ前カラノ經驗ノアル事デアリマシテ、區裁判所ノ極小サイ所ニ至リマスト、破産事件トシテモ殆ド小サナモノバカリデアリマス、殊ニ此案デ言ヘバ、小破産程度ノモノデ一萬圓以下デアアル、而モ其點カラ見テ一流ノ專門判事ヲシテ扱ハシメルト云フコトハ、是ハ適當デナイト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、區裁判所ヲ擴張シテ居ルガ、併ナガラ今日ハ其事ハシテ居リマセマスガ、昔裁判事務ガ全ク裁判所トシテ登記ダケヲ取扱ハレタ例ガ澤山アル、是ハ裁判所構成法ノ十三條ノ解釋カラ來テ居ル、相當ノ事件ガ區裁判所ニ破産事務ヲ併合シテ取扱ハシムル、破産法ニ於テモ津々浦々ニ至ルマデ、專門ノ智識アル人ヲ配置スルト云フコトハ出來マセスカラ、多ク區裁判所ノ方ニ委任スル手續ヲシナケレバナラスト考ヘテ居リマス、而シテ破産事務ヲ取扱フ場合ニハ、極メテ破産事務ニ精通シタ判事ヲシテ、執務ノ結果段々研究シテ、而シテ能イ破産裁判官ヲ造ル考デ、全國地方裁判所ニハ部長ガアリマシテ、中心人物トシテ其裁判事務ニ精通シテ居ルケレドモ、是ハ普通民法商法ノ一般訴訟ノ手續ト云フ事ハ、サウ云フ事ヲ主トシテ居リマス、特ニ此人ニ戶籍事務ニ聽イタラ全ク分ラナイ、登記ノ事ヲ聽イテモ分ラナイ、ソレデ若シ地方裁判所ノ部長ニシテモ專門ニ破産事務ヲ取扱フ所ノ部長ニシナケレバ到底破産事務ヲ精通シテ、而シテ慣レザル陪席判事ヲ率キテ行クト云フコトハ、全ク出來ナイト思ヒマス、餘程專門的ニ之ヲ研究シナケレバ、唯テ頭方能イ、裁判事務ニ慣レテ居ルト云フダケデハ、ドウモ破産事務ヲ取扱フコトハ出來ナイト思フ、其意味ニ於テ借地借家

調停ニ於テモ、區裁判所ニ於テ調停ノ事務等ニ當レヤウト考ヘテ居リマス。要スルニ專門ノ仕事ヲスルノハ、矢張專門ノ共事務ニ。破産法ハ今ノ單行ノ法律ヲ御作リニナリマシテ、爾來ハ商法ノ一部デアッタノデスガ、サウシテ今度ノ破産法ノ百五條ナドヲ見マシテモ、一人携ルト云フコトガ最モ得策ト私ハ考ヘテ居リマス、勿論之ニ付テ人員配置ノ計畫ハアリマス。

○横山委員 此今度ノ破産法ヲ見マスルト、商事事件ノミニ限ラズ、民事事件、商人、非商人タルノ間、ズ、一般ノ議スル意味ニ於テ、此破産事件法ト云フモノヲ御制定ニナッタヤウニ思ヒマスガ、從來、通りニ御扱ニナリマスノト、此破産法ニ於テ御扱ニナルノニ付テ、統一ト云フ上カラ、實際此民事事件ナドハ隨分小サイノモアリマスシ、尤モ今度ハ小破産ト云フモノガ認メラレテ居リマスケレドモ、大規模ノ破産トシテ財産ナドヲ造テ色々複雑ナル手續ヲ履マストモ、解釋ノ出來ル民事事件ナドモアル、併セテ之ヲ規定サレマシタト云フ譯ヲ伺ヒタイ。

○山内府委員 是ハ今日初テ一般破産主義ヲ採ッタノデハナイノデアリマス、民法商法ノ中ニ破産ハ商人ト非商人トノ間ハズシテ、宣告ヲ爲スベキ豫定ノ下ニ民法ハ出來テ居ル、故ニ受任者委任者破産スレバ、委任關係ハ終了スル、或ハ貸貸關係ニ付テ、賃借人ノ破産ノ事ガ規定シテアル、併ナガラ破産法ガ之ニ伴ウテ同時ニ出來ナカッタガ爲ニ、家資分散法ノ規定ヲ間ニ合セニ使テ、民法中破産トアルモノハ、商人ニ非ザル者ニ付テハ、家資分散ヲ謂フト云フヤウナコトヲ民法ニモ商法ニモ其規定ヲシテ置イテ、此家資分散ト云フコトガ今日ドウ云フ状態デアリカト云ヘバ、御承知ノ通りアレハ強制執行ヲシテ、而シテ財産ガ債務ヲ完済スルコトガ出來ザル場合ニ、家資分散ト云フ宣告ヲスルコトニナル、サウ云フ次第デアアルカラ、民事上ノ債務者ト云フテモ中々大キナ債務者ガアル、例ヘバ大キナ鑛山ノ整理、是ハ民事營業トシテ、結局家資分散ト云フコトニナルノデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、併シ是ハ解釋上ニ一ツノ疑點ハアリマスケレドモ、ソレハ別問題トシテ置イテ、要スルニ必シモ民事上ノ債務者トシテ小サナモノバカリデナク、又一方商人デアッテモ、必ズシモ大キナモノデナイ、御承知ノ「デ」屋商人屋モ商人デアアル、サウ云フ次第デアアルカラ、財産ノ多少ハ民事ニ少ナクシテ商事ニ多イトノミ限ラス、而シテ家資分散ノ規定ニ依ルト云フト、強制執行ノ途外ナイ爲ニ、先テ爭フテ強制執行ヲスレバ、所謂機敏ナ者ハ優先シ、遲鈍ナ債權者ハ劣ヲ取ル、斯ウ云フコトニナル、而シテソレハ各個ノ財産ニ付テ、一々強制執行ヲ致サナケレバナラス、勿論全財産ヲ一括シテ強制執行スルニ

較ブレバ、手續ノ煩雜ナルコトハ言フヲ俟タヌ、而シテ債權者ノカラ云ヘバ公平ヲ失スルト云フコトニナル此破産方債務者全財産ニ對シテ、總債權者ノ爲ニ最モ公平ナ分配ヲ圖ルト云フ主義デアアル以上ハ、家資分散法ノヤウナ不完全な規定ハ之ヲ廢止シテ、之ヲ極メテ公平ニ迅速ニ運ブ必要ヲ認メル、此點ニ於テ商人ト非商人トヲ私ハ區別スル所ノ理由ハ無カラウト考ヘテ居ル。

○横山委員 此ノ承テ居リマスノニ、英吉利デハ破産ノ場合ニハ破産行爲ト云フモノヲ推定スベキ事項ヲ並ベテ、總テ支拂能力喪失ノ場合デナケレバ、破産ノ宣告ヲ爲スコトガ出來スト云フコトニナッテ居ル、今回ノ本案百二十六條ノ一項ニ「支拂ヲ爲スコト能ハサルトキハ」云々ト書カレテ、支拂能力喪失ノ場合ヲ定メラレテ居ルノデゴザイマス、必シモ此規定ヲ非難スルノデゴザイマセヌガ、從來ハ商人ノ破産ノ場合ニ限ラレテ、支拂ヲ停止シタトキニハ、破産宣告ヲ爲スコトガ出來ルヤウニ規定サレタル、今回ノ百二十六條ノ二項ヲ見マシテモ、支拂ヲ停止シタトキハ、支拂ヲ爲スコト能ハザルモノト推定スル規定ガ置カレタル、斯ウ云フ意味ニ御覽ニナル位ナラバ、支拂能力ノ喪失ト云フコトニ御改メニナラズトモ、停止ノ場合デ宜シヤウニ思ヘルノガ一ツ、モウ一ツハ從來ノ破産法ト云フモノハ、支拂停止ト云フ事實カラ打算セラレタヤウデアアル、矢張債務者ノ爲ニモ、又債權者ノ爲ニモ、支拂能力ノ喪失スルマデニ至リマセストキニ於テハ、即チ支拂ヲ停止シタ位ノ程度ニ於テ、此破産ノ宣告ヲ許シテサウシテ解決セシムルト云フコトガ、便宜ニシテ、且ツ利益ナル規定デアリナイカト思フノデアリマスガ、此御改メニナリマシタ趣旨ヲ承リタイ。

○山内府委員 此支拂停止ト云フ現行法ノ文字ノ解釋デスガ、支拂不能ナラザルニテ止メルト云フ事ハ、支拂停止デハナイト私ハ解釋スル、唯タ支拂ヲシナイト云フダケデハ、破産ノ原因ニナル、支拂停止ノ狀況ニ在ル者ト云ヘナイ、ソレハ先ヅ支拂停止ト云フノハ、債務者ガ自分ハ到底債務ヲ支拂フ事ガ出來ナイト云フ信認ノ下ニ一般ノ支拂ヲ止メルトハ、支拂停止ト云フ事ヲ現行法ニ於テ認メラレル、然ルニ時トシテ誤解ノアル事モアル、船ガ沈没シタト思フデ、到底自分ハ駄目タカラ支拂ヲ止メルト、シテ居ルト焉ゾ知ラシ船ハ安全ニ他ノ港ニ著イテ居ルト云フヤウナ事モアル、其場合ニ破産セシムルト云フ事ハ第一無理デアアル、ソレカラモウ一ハ支拂停止ト云フ事ヲ破産ノ要件ニシテ居ル、支拂不能者、財産ノ無イ者ガ無理ニ高利貸カラ金ヲ借りテ來テ、一人々々ノ債務者ニ遺線ヲシテ、サウシテ支拂ヲ續ケテ行クノハ支拂不能ノ者デアアル、其資力ハ債務ヲ支拂フ事ガ出來ナイモノデアアルガ、併ナガラ支拂停止ニハナラス、サウ

スルト支拂不能者ガ間ニ合セテ續ケテ居ル場合ニ、破産ノ宣告ヲ今日ノ法案デハ出來ナイト云フ事ニナル、サウスルト其間ニ財産ト云フモノハ減茶々々ニナッテシマウ、法律ハ之ニ過意破産ヲ以テ罰スルケレドモ、是ハ債權者ガ餘程徳義心ノ厚イ者デナケレバ望ムコトガ出來ナイ、サウ云フ次第デアリマスカラ、支拂ガ出來ナイト云フ事デナケレバ、此人ヲ破産者トシテ財産ヲ分配スル必要ハ無イ、併ナガラ支拂停止ヲ破産者ガスルトキハ、先ヅ一應資力ノ足ラナイ者ダト云フ事ニ推定スルノデアリマス、併ナガラ推定ヲスルダケデ支拂停止ヲシタノハ、實ハ誤信ノ下ニ支拂停止ヲシタノデアアル、支拂不能者デナイト云フコトノ證明ガ出來レバ、之ニ破産ノ宣告ヲシテ、身代ニ強キ制裁ヲ及ボスト云フコトハ適當デナイダラウト云フノデ、此案ハ斯ウ云フコトニシテ居ルノデアリマス、是ハ獨逸法及埃地利ノ一番新シイ法律ヲ採ッタノデアリマスガ、皆ナサウ云フ事ニナッテ居ル、英吉利ノヤウニ色々ナルモノヲ例學スルト云フコトハ私ハ適當デナイト考ヘマシテ、汎ク「支拂停止」ト云フ文字ヲ掲ゲテ之ヲ推測シ、支拂不能ノ者デアレバ、破産ノ宣告ヲスルト云フコトヲ最モ適當ト考ヘテ、本案ノ如ク致シタ次第デアリマス。

○横山委員 此百五條ニ付テ……百五條ニ依リマスルト「破産事件ハ債務者ガ營業者ナルトキハ其ノ主たる營業所ノ所在地、外國ニ主たる營業所ヲ有スルトキハ日本ニ於ケル主たる營業所ノ所在地、營業者ニ非ザルトキハ又ハ營業所ヲ有セザルトキハ其ノ普通裁判籍ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ專屬ス」トアリマス、此從來ノ判例ナドニ依リマス、營業所所在地ヲ本店所在地ト解釋セラレテ居ルヤウデアリマス、若シサウ云フ趣意ニナリマスルト云フト、此狡猾ナル破産者ヲシテ破産宣告又ハ其以後ノ手續進行ヲ妨グル、奸手段ヲ行ハシムルト云フヤウナ嫌ガアリハシナイカト危ムノデアリマス、何デモ承ル所ニ依リマス、東京大阪ニ亘ッテ汎ク取引ヲシテ居ル某商人ガ、數十萬圓ノ債務ヲ負フテ支拂ヲ停止シタ所、逸早くモ此千島ノ方面ニ向ッテ本店ヲ移轉シテシマシタノデ、遂ニ此東京大阪ニ於ケル所ノ債權者ハ、破産ノ申立ヲ致シマスルノニハ、其地方ニ行ッテシナケレバナラスト云フヤウナ狀況ヲ呈シテ、困タト云フ實例ガアッタト云フコトデアリマス、此點ハ矢張サウ云フ場合デモ漏レナク律スルコトニ出來ルト云フコトヲ心得得宜シウゴザイマス。

○山内府委員 極メテ惡辣ナル例、是ハ私ハ好イ適例トシテ初テ承ッタノデアリマス、此今マデニ規定ガ足ラナイノハ、先ヅ支拂停止ノ前ニ破産宣告ガ出來ナイト云フコトガ一つ、ソレカラ破産宣告前ニハ、假設分トカ、假差押トカ、

其他ノ行政處分ノ途ガ全ク無カッタノミナラズ、其本人ガ逃亡スルモ之ヲ防グ方法ヲ講ジナカッタ、サウ云フ次第デアリマスガ、今度ノ案ハ之ヲ拘束スル假處分ノ權利ヲ認メタノデ、財産ノ一般ニ對シテ假處分の保全ノ途ヲ講ズルノ方法モ定メテアル、ソレカラ茲ニ財産ニ對スル假處分、假處分ノ途モ講ジテアル、又保全處分ニ依ッテ適當ナル方法ヲ債權者ニ於テ豫メ講ズルニ非ザレバ、餘程破産事件ノ處理ハ困難デアラウ、狡猾ナル者ニ掛ッテハ——而モ若シ狡猾ナル者ガアッテモ、之ヲ逃ゲルコトガ出來ルト云フ事ハハ想像ガ出來ル、只今千島ノ例ヲ御話ニナリマシタガ、營業所ヲ千島ニ持ッテ行ッタルハマダ正直ナンデ、例ヘバ營業所ヲ廢止スル、會社ナレバ解散シテシマウ、提鞭ノ中ニ會社ヲ入レテ逃廻ッテ居ルヤウナ人モアル、斯ウ云フ者ヲ法律ノ規定デ押ヘテ行クト云フコトハ到底出來ナイ、然ルニ詰リ破産事件ト云フノハ、兎ニ角或ル中心ヲ定メナケレバナラス、其中心ヲ定メルニシテハ、矢張主タル營業所ト云フコトニスルノガ、最も適當デアル云フ考デ……

○横山委員 モウ一點ダケ伺ッテ跡ノ質問者ニ譲リマスガ、今度ノ破産法ニハ監査員ト云フ新シイ規定ガ置カレマシタ、是ハ破産管財人ノ上ニ監査員ガ付ッテ、其上ニ裁判所ヲシテ監督セシムルト云フ手續ニナッテ居ル、如何ニモ屋上ニ屋ヲ架スルト云フヤウナ嫌ガアッテ、手續ヲシテ徒ラニ紛更錯雜ナラシムルト云フ虞ガ無イカ、而シテ監査員ハ債權者ノ集會ニ於テ選任セラレ、者デアリマス、事實上債權者ノ利害ノミヲ以テ破産管財人ヲ掣肘シテ、破産管財人ヲシテ公正ニ職務ヲ執行スルコト能ハザラシムルト云フ嫌ガアリハシナイカ、是ハ寧ろ除ケラレテ、破産裁判所ヲシテ直接ニ破産管財人ヲ監督セシムルト云フコトガ、總テノ點ニ於テ宜シイ事デハナイカト斯ウ思フノデアリマスガ、此點ヲ……

○山内府委員 此現行法ノ下ヲ於テ債權者ガ活動スルノハ、債權者集會ノミデ、結局破産ニ於ケル最高ノ機關ハ言フマデモナク債權者集會、是ハ破産ハ自治の手續ト云フノデ、恰モ會社デアルガ如ク債權者自ラ集會シテ、而シテ多數ノ自治的決議ヲ以テ破産事務ノ處理ヲ結局決スルノガ、債權者集會ノ職トスル所デアリマス、併ナガラ之ヲ一々債權者ノ集會トシテ債權者ノミトナッテハ、債權者ノ權利ヲ保護スル途ガ餘程薄クナル、ソレデ丁度會社ニ監査役ガアルガ如ク、債權者ノ集會ニ於テ、三人四人ノ茲ニ監査員ヲ選ンデ、破産管財人ノ事務ニ付テ監督ヲサセル、此監督ハ勿論法律ニ於テハ其監査員ノ職トスル事柄ハ規定シテアル、然ルニ其近來ト云フヨリハ——近來ハ無イケレドモガ、能ク其破産管財人ニ於テ破産事務ヲ處理スルニ極メテ緩慢デ、極端

ナ例ニナルト、破産事件ガ永ク續ケバ續クダケ——清算ニ於テモ其話ヲ聞クノデアリマスガ、是ハ極ク少ナイ例デ、愚疎ナル人ノスル事デ、長引ケバ長引ク程自分ノ利益ダト云フコトデ引延シテ、而シテ其事務ハ自分ノ代理人ニ扱ハシテ、自分ガ管理シナイヤウナ弊害モ、之ヲ一々裁判所ガ監督シテ行クト云フコトニナッテモ、其管財人ノ事務ノ内容ニ絶ヘズ附イテ居ル譯デハナシ、裁判所ガ監督役ノヤウニ、破産事務ノ内容ニスッカリ掛ッテ仕事ヲシナケレバナラスコトニナッテナラバ、到底煩ニ堪ヘナイ、物ニ依ッテハ之ヲ今賣ルガ宜イカ、此財産ヲ——或ハ金ヲ借ルニハドシテ風ニシテ借ルカト云フコトヲ裁判官ニ望ンデモ、如何ニ正直ノ裁判官デモ到底困難デアラウ、寧ろ不可能デアラウ、貴族院ニ於テ更ニ今ノ御質問ヨリ進ンデ、何故ニ裁判官ヲ管財人ニシナイカト云フヤウナ問ヲ私ハ受ケタコトガアル、只今申シマストハ、是ハ不可能ノ事デアル、管財人ニ任ジテ置クト云フコトニシテハ、時シテ弊害ナキニ非ズ、債權者ガ集テ之ヲ監督スルコトハ困難デアル、故ニ此債權者集會ノ中カラ委員ヲ出シテ、其監督ヲスル者ヲ茲ニ定メルコトハ、破産事務ノ處理ニ付テハ最も適當ノ方法デアッテ、決シテ屋上屋ヲ架スルト言フ弊ハ無カラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○横山委員 只今御説明ガゴザイマシタカラ附加ヘテ御尋ラスルノデスガ、今ノ貴族院ニ於テ、裁判官ヲシテ破産管財人トシテハドウウカト云フヤウナ質問ガ出タト云フ、其動機ヲ形造ツタ事柄ガアッタト云フコトヲ耳ニシタノデス、ソレハドウモ兎角管財人ガ、此破産財團ト云フモノヲ喰物ニシテ仕方ガナイ、喰物ニスル手段ト致シマシテハ、荏苒其手續ヲ進行セシムルコトヲ爲サシテ云々ト云フヤウナ、是ハ尤モ速記ニハ載ッテ居ラス、小委員會デアッタノデ、後デドナタカ御話ニナッタルト云フヤウナコトヲ耳ニシテ居ルノデスガ、實際ニ於テサウ云フ實例ガ有、タノデゴザイマスガ、無カッタノデゴザイマスガ、今ノ一般的ニハ管理人ガ緩慢ニ流レテ、其事務ヲ進行ヲ怠ラシムルト云フコトヲ承リマシタ、又意圖ナト云フコトモ既往ニ無クモ、將來ニ於テ有リ得ル事デアリマスケレドモ、若シ實例ガ有、タノデアリマセウカ、無カッタノデアリマセウカ、此點ヲ伺ヒマス

○山内府委員 私人言葉ガ足ラナカッタナラバ訂正シテ置キマスガ、一般的ニ有ルハ私ハ申シマセス、一般的ノ言葉デ、兎角管財人ガ事件ヲ遲延セシムルモノデアルト云フコトハ、私ハ中シマセス、サウ云フ弊ヲ耳ニセヌコトハ無イ、只今ハ知ラヌガ實例トシテ調査ラシテ、斯ウ云フ事ダト云フコトマデニ、私ハ斷定スルノデハナイ、其事ハ辯護士諸君ノ中カラモ、ドナタカ舊イ事デ——或ハ時々アルト云フ

コトデ、一々覺エテ居リマセヌガ、隨分ヒドイ事ガアルト云フコトヲ私テ承ッテ居ル、謂ハバ噂ニ過ギヌコトデアリマス、管財人皆ナ然リト申シハシマセヌ、又管財人デ辯護士デナイ管財人モ大分アリマシテ、實際ニ扱ッテ居ル者ガアリマス、ドチラニアルトハ申シマセヌ、唯サウ云フ事ヲ私ハ聞クコトガアル、而シテ貴族院ニ出タ問題ハ、小委員會ニ出タ問題モ速記ハアリマス、私モサウ云フ事ハアリシト斷定シタ譯デハアリマセヌガ、寧ろ貴族院ノ方デ喰物ノ問題ガ出テ、サウシテ私モサウ云フコトヲ聞ク——文字ハドウウナッテ居ルカ知レマセヌガ、私ノ申シタ趣旨ハサウ云フ意味ニ於テ言ッタルデアリマス、弊害ナキニシモアラズト云フ程度ニ於テ、私ハ答ヘタノデアリマス、責任ヲ以テ誰ガ斯ウシタ、彼ガ斯ウシタト云フコトヲ言ッテハアリマセヌ

○渡邊委員 只今横山君ヨリ御尋ニナッタル所ノ百一十六條ノ規定デアリマスガ、此百一十六條ニ依リマスルト、債務者ガ支拂ヲ爲スコトガ出來ナイ、支拂不能ノ場合ニ於テ、初テ破産ノ申立ガ出來ルト云フコトニ相成ッテ居リマス、現行法ハ支拂停止ノ事實ガ無ケレバ、破産ノ申立ガ出來ナイト云フコトデアリマスガ、此條ニテ改正セラレマシタル所ノ趣旨ヲ承リタイ、現在ノ裁判例ニ依リマシテハ、此ノ改正ノ必要ヲ見ナイヤウニ思フノデアリマス、現在ノ裁判例ニ依リマスレバ、支拂ノ停止ヲ致シタノミデハ破産ノ宣告ヲ致シテ居リマセヌ、支拂停止ヲ致シタト云フ事ハ、其裏面ニ支拂不能ノ狀態デアルト云フ事實ヲ立證セザル以上ハ、破産ノ宣告ハ爲シテ居ラス様ニ思フノデアリマス、然ルニ此現行法ヲ本法ノ如ク改正致シマスレバ、此支拂停止ト云フ事實ガ無クモ、債務者ガ支拂不能ノ狀態ニ在ル場合ニ於テハ、破産ノ申立ガ出來ルト云フ、斯ウ云フ意味ニ於テ此規定ガ改正サレタモノト思フノデアリマスガ、若シサウデアルト云フト、支拂停止ト云フ事實ガ表面ニ現レザル場合ニ於キマシテモ、支拂不能ノ狀態ニ在ルト云フトキニ於テハ、直ニ此債務者ノ財産ヲ散逸ヲ防グト云フ趣旨カラ、破産ノ申立ガ出來ル、是ダケノ效果ダケシカナイヤウニ思ヒマスルガ、唯タ其點ニ依ッテ、改正デアリマスガ、何カ支拂停止ヲ前提トセザル理由ガ他ニアリマスガ、其點ヲ伺ヒマス

○山内府委員 趣旨ハ只今ノ御話ノ通りデ支拂停止アルヲ待ッテ始テ破産ノ宣告ヲスルコトニナルト、其間ニ財産ノ散逸ヲ爲スノ虞ガアル、或ハ隱匿ヲスルノ虞ガアル、モウ隱匿シテシマヘバ、是ハ支拂停止ノ一ツト私ハ考ヘマス、併ナガラ是ガ證明サレズニ、或ハ高歩ノ金ヲ借りテ支拂ヲスル、サウ云フコトデ財産狀態ヲ非常ニ債權者ガ不利益ニスルト云フ虞ガアルノデアリマス、支拂停止ガアレバ、先ヅ支

拂不能ニシテ直ニ宣告ヲスルノデアリマスガ、支拂不能即チ單ニ財産ヲ以テスルノミナラス、信用ヲ以テシテモ、財産ヲ以テシテモ、其他總テノ資力ヲ以テシテ支拂不能ト云フ事ガ明確ナル以上ハ、未ダ支拂停止ナキニ拘ラズ、破産ノ宣告ヲスル必要ガアルト云フ點ダケニ、私ハ考ヘテ居リマス

○渡邊委員 サウ致シマス、此規定ニ依ッテ或ハ濫訴ノ弊ハゴザイマセカ、債權者ガ債權者ニ對シテ、唯テ理由ナク債務者ナル者ガ支拂不能ノ状態ニ在ルト云フコトヲ漫然ト申立テ致シテ、一面ニ於テ支拂停止ノ事實ガ無い、唯テ支拂不能ノ状態ニ在ルト云フ、極ク單ナル理由ニ依ッテ、破産ノ申立ヲスルト云フコトニナルト、債權者ハ非常ニ威嚇セラレ、或ハ一身上ニモ、或ハ信用上ニモ大ナル影響ヲ來タスト云フ御意見デアリマスガ、濫訴ノ弊ハ無い

○山内府委員 濫訴ノ弊ノ有無ハ私ハ此文字ガ誘發スルコトハナカラウト考ヘマス、要スルニ破産宣告ヲスルノハ、支拂不能ノ状態ガ明ニナッテ、破産宣告ヲスルト云フ一點ハ、現行法ニ於テモ、此案ニ於テモ、同様デアリマス、併ナガラ是デ以テ濫訴ヲ私ハ特ニ誘發スルトハ考ヘナイ、支拂不能ノ状態明カナル場合ニ於テ、破産ノ申請ヲスルト云フノガ、普通ノ方法デアリマスカラ、之ヲ徒ニ債權者ヲ苦シメルト云フコトノ問題ニナリマス、其「支拂停止」ノ文字ガ一字附イテ居ルト居ラナイト、私ハ區別ハ無カラウト思ヒマス、今日支拂停止ナキニ拘ラズ、支拂不能ノ状態ニ在ラザルニ拘ラズ、威嚇スル爲ニ破産ノ申請ヲスルト云フコトガ能ク行ハレテ居ルデアリマス、ソレデアリマスケレドモ、是デ濫訴ヲ誘發スルコトハ、私ハ無いと思ヒマス、其濫訴ヲ防グノ方法ハ、別ニ是ハ講ジナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 現行破産法ト此法案ト比較致シマス、現行破産法ニ於テハ、商人ノミニ限定サレテ居リマスガ、此案ニ依リマスレバ、商人非商人總テ此法ニ依ッテ、破産ノ申立ガ出來ルコトニナッテ居リマス其内容ニ於テハ民法及商法ニ相一致スルケレドモ、左様ニ改正シタノデアルト云フ趣旨デアリマスガ、ソレハ諒解致シマシタガ、若シ商人非商人ヲ問ハズ破産申立ガ出來ルコトニナリマス、現在ニ於テモ商人ノミニ限定サレテ居ル現行法ノ下ニ於キマシテモ、此破産申立ト云フモノガ中、多イデアリマス、先刻御配付ニナリマシタ破産ニ對スル處理件數ト云フ上ニ於テモ、大正九年度ニ於テ二千三百四十七件ニナッテ居リマス、ソレカラ家資分散ノ方ノ處理件數ハ大正九年七百六件、而シテ此七百六件、二千三百四十七件トナッテ居リマスガ、此

中デ終決迄參ル件數ハ極メテ少イ、半バニ相成ッテ居リマス、多クハ申立テ致シテ居ル途中ニ於テ取下ゲル、或ハ示談ヲスルト云フ風ガ半バ過ギテ居リマス、中ニハ勿論却下ニナッテ分モゴザイマスガ、ソレ以テ債權者ガ債務者ヲ威嚇スル方法トシテ破産ノ申立ヲ致シテ居リマシタ、其半バニ於テ多ク取下ゲスルトカ示談ヲスルトカ、何等カノ方法ニ於テ債權者間ノ解決ヲ告ゲルコトガ、此件數ノ上ニ明ニナッテ居リマス、若シ本法ノ規定ニ依リマス、尙ホ一層家資分産法ナド廢止セラレルノデアリマスカラ、家資分産法ノ上ニ於テモ、總テ破産法ニ於テ處分サレルノデアリマスカラ、益、斯ウ云フ申立件數ト云フモノガ激増シハシナイカ、本當ノ破産迄ヤルト云フコトハ少クシテ、此申立ヲシテ置イテ、其中間ニ於テ相當ニ利益ナル解決ヲスルト云フ債權者ノ欲望ヨリ出ルコトガアリハシナイカ、所謂此ニ於テモ濫訴スル權利ヲ濫用スルト云フヤウナ弊ニ、陷リハシナイカト思フノデアリマス、當局ニ於テハ此點ハドウ云フ御考デアリマスカ、一應……

○山内府委員 此威嚇々々ト云フコトハ、私ハ一ツノ例ニ引キマシタガ、總テノ破産事件ガ總テ威嚇ノ爲ノミニ考ヘテ居ナイ、殆ド今日ノ破産ノ申請ハ威嚇ノ爲メカト云ヘバ、多クハサウデナイ、破産状態ニ付テ調ベテ見レバ多イダラウト思フ、併ナガラ破産手續ニ付テ一部ノ配當ヲ受ケルヨリハ、却テ債權者トノ間ニ示談ヲシテ、サウシテ破産ノ宣告ヲ受ケナイコトニシヤルト云フノガ債權者ノ希望デアリ、是ハ然レベキ事デアリ、其關係カラ多ク破産ニ至ラズシテ債權者ガ債權者デナイヤウニナッテ、事ガ済ンデシマウト考ヘテ居リマス、威嚇ノモノモアリマセウケレドモ、必ズ事件ハ威嚇ニ依ッテノミ出來テ居ルノデナクシテ、是ガ自然和解ニナルノガ多ク自然ノ成行デアラウト思フ、此自然ノ成行デ和解ガ出來ルコト云フ事ハ、寧ロ歡迎スルノデアリマス、ソコデ此案ガ商人非商人ノ破産ノ手續ヲ煩ゲタガ爲ニ俄ニ濫訴ガ殖エルト云フコトハ考ヘテ居ナイ多少今迄破産ヲ以テ威嚇スルト云フコトハ殆ドアリマセヌ、之ニ依ッテ濫訴ガ殖エルト云フヤウナ考ハ持タナイノデアリマス、私ハ前ニ伏線ヲ張ッテヤウナコトヲ言ッテ置キマシタガ、破産ノ宣告ヲ受ケルト云フコトハ債務者ハ非常ニ辛イ、ソコデ此破産ノ宣告ハ成ベク免レルヤウニシタイト云フノデ、詰リ破産防止ノ法ヲ和議方法ヲ以テ定メタノデアリマス、破産状態ニ陷ッテシマハナケレバ却下ニ定メテ居リマス、破産状態ニ在リト雖モ和議ノ申立ヲスレバ、破産手續ハソレ止ッテシマウ、和解ノ申立ガ成立テバ破産ノ宣告ヲシナイト云フコトニナル、ソレデ其破産ヲ防止スルノ途ハ、和議ノ申立ヲスレバ、是迄通り和解ガ成立スレバ破産ハ無クナルノデア

リマス、破産状態ニ陷ッテ居ッテモ、當事者間ノ和解ヲ以テ取下ゲレバ是ハ消滅スル、ソレ以上破産法ノ途ヲ定メルニ依ッテ、破産者威嚇ノ途ハ餘程減ルト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 濫訴ト云フコトハ語弊ガアルカ知リマセヌガ、詰リ破産ノ申立ニ過ギヌト云フモノガ餘程増加スルノデアラウト思ヒマスガ、ソコデ現在ニ於テモ普通ノ訴訟事務ト云フモノハ、地方ニ依リマシテハ隨分訴訟事務方滯滯致シテ居リマス、然レニ此案ガ通過致シタ後ニ於テ、此破産事務ト云フモノガ激増シテ參ルト云フコトニナリマスレバ、隨テ現在ニ於テスラモ訴訟事務ノ滯滯ト云フコトヲ聞クノデアリマス、尙ホ一層事務ノ滯滯ニ陷リハシナイカト思フノデアリマス、其點ニ付テ當局ニ於テハ斯様ナ事ハ無い、大シタ増方ハアルマイト云フ御意見デアリマシタガ、サウ致シマスレバ本法ノ實施後ニ於キマシテ、本法ニ關聯致シテ或ハ判事ヲ増員スルトカ、役員ヲ増員スルトカ云フヤウナ意味ニ於テ、豫算ノ御請求ニナルト云フ御意志ハ無いノデアリマスカ

○山内府委員 此事件ノ増加ノコトハ、是ハ二様ニ私ハ觀察致シテ居ル、當分ハ民事事件ハ餘程殖エラウト思フ、殊ニ不景氣ノ結果デアリマシテ、破産事件ハ自ラ殖エラウト思ヒマス、是ハ破産事務ガ此法案ニ關係ナク増加スルト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此案アルガ爲ニ、殊ニ破産事件ガ殖エルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、併ナガラ一般ニ事件増加ニ伴フ所ノ人員ノ増置ト云フコトハ、色々今政究致シテ居ル、是ハ他ノ機會ニ於テモ申シタヤウニ、民事裁判所ハ今日破産ノ状態ニ在リ、裁判所ガ事件ニ付テ支拂停止ニナッテ居ルノデアリマスカラ、何トカシテヤラナケレバナラス、併ナガラ其状態ヲ除ケテ考ヘレバ、現行破産ト此破産草案ニ於ケル所ノ人員ニ對シテハ、寧ロ是ハ節約ガ出來ル積リデアリマス、而シテ區裁判所専門ノ人ガ掛ッテ仕事スルト云フコトニナリマスカラ、理窟ニ於テモ當然デアリマスガ、實際ニ於テモ破産法案ガ出來タガ爲ニ必要トスルト云フ事ハ考ヘテ居ナイ、併ナガラ兎ニ角破産事件ト云フモノハ、他ノ事件ト同様ニ非常ニ破産事件ガ激増シテ居ルコト、私ハ表ニ依ッテ感ジテ居ル、其等ノ點ハ今少シク經濟状態ガ何處ニ落付クカト云フ事ヲ見テ、サウシテ適當ニ人間ヲ安排シナケレバナラスト云フ事ハ考ヘテ居ル、何分ニモ今日ノ財政状態デ、サウ云フ一般ノ事ガ屢々交渉シテモ通過シテ居ナイヤウナ事デアリ、裁判所ノ建物ニ對シテモ足ラナイ、東京地方裁判ナドモ刑事訴訟法ガ改正ニナッテ、大審院ニ部ガ殖エル、建物ヲ殖ヤサナケレバナラス、借地借家ノ調停ノ爲ニ又一ツノ室ガ要ルト云フ事デ、建物ノ關係カラモ大分苦シイ状態ニ在リ、ソ



レデ大體ニ於テ人員ノ事ハ將來按配シナケレバナラスガ、破産法ガ出來ヌガ爲ニト云フ理由ヲ以テシテハ、人間ヲ殖スト云フコトハ筋ガ通ラヌヤウニナッテ居リマス、之ニ付テハ豫算ハ提出シテ居リマセヌ、併ナガラ此破産法ハ是ハ議會ヲ通過シテモ、直ニ四月カラ實施スルト云フコトニハ行カナイト思フ、是ダケノモノハ裁判所ガ研究スルニハ、少クモ一箇年ノ日子ヲヤラナケレバナラヌト思フ、案ニ付テモ研究ヲシテ居ルケレドモ、ドウシテモ法律ニナケレバ眞面目ニ研究ガ出來ナイト思フ、相當其間ニ於テ諸般ノ意見ヲ經メマシテ、ドウシテモ人間ガ足ラヌト云フコトニナレバ殖サナケレバナラヌケレドモ、破産法ノ爲ニ特ニ此法律ノ結果カラ人ガ不足ニナルト云フコトニハ考ヘテ居リマセヌ

○渡邊委員 破産法實施ノ爲ニ却テ官吏ノ節約ガ出來ルヤウナ事ガアリマシタガ、現在ニ於テモ大阪東京等ニ於キマシテハ、破産事務ハ專任ノ判事ニ於テ御取扱ニナッテ居ルヤウニ承ッテ居リマスガ、本法通過後ニ於テモ矢張同ジデアル、現在モ其手續デヤッテ居ル、大ナル裁判所ニ於テハ其取扱ニ於テハ餘リ變ラヌト思フノデアリマス、件數ガ若シ殖エマスレバ、今日ノ御取扱ヨリハ非常ニ矢張多クノ職員ヲ要シ、多クノ判事ヲ要スルト云フ事ニナラダラウト思ヒマスガ、此心配ハ無イト云フコトデアレバ、豫算面ニ於テモ影響ナイノデ、ソレデ宜シウゴザイマス、破産管財人ノ事デアリマスガ、三百八十條ニ於テ罰則ヲ規定シテアリマスガ、政府委員ノ貴族院ニ於ケル御答辯ニ依レバ、管財人ハ公務員ニ非ズ、公務員ニ非ザルガ故ニ、一般刑事ノ制裁ヲ受ケルモノデナイノデ、本法案ニ依ッテ其罰則ヲ規定シタモノデアル、ト云フ御答辯ノヤウニ記憶シテ居リマスガ、公務員ニ非ズト云フ論據ハドウ云フ點ニ在ルノデアリマスガ

○山内政府委員 是ハ又時ヲ期シマシテ専門家ノ方カラ説明サセルコトニ致シマスガ、此案ヲ定メマス際ニ、公務員ト云フ說ヲ唱ヘタ人ト、公務員デナイト云フ說ヲ唱ヘタ人トアリマス、公務員ナリトシテ說ヲ唱ヘタ人ガアルト云フノハ、加藤君一人デアッタ、私ハ刑法ノ公務員ノ解釋ハ極メテ素人デアルカラ、棄權ヲ致シテ意見ハ述べナカッタ、而シテ之ヲ刑事局ノ參事官會議ニ掛ケテ、果シテ公務員ナリヤ否ヤト云フコトニ付テ刑事局ノ人ト相談ヲシマシタ結果、皆ナ是ハ全會一致公務員デナイト、ソレデ公務員デナイト云フコトニナッテ、收賄ノ如キ行爲ガアッテ呉レテハ、一債務者ノ破産ト云フモノ、事ハ經濟社界ノ公事デアアル、一債務者ニ對スル事デアアルケレドモ、其結果ハ公益ニ關スルヤウナ重大ナ結果ヲ惹起シ、時トシテハ破産事件ノ大キナルモノガ起ル結果、恐慌ノ原因トナルヤウナコトガアル、ソレデドウシテモ罰シナケレバナラヌ、處罰ハ普通ノモノヨリハ、金額

ノ方面ニ於テ重クシナケレバナラヌノデアルト云フノデ、斯ウ云フ事ニナッタノデアリマス、此公務員ノ定義其性質等ニ至リマシテハ、私ガ茲ニ説明シテ若シ嘘ヲ言フコトニナルト甚ダ相濟ミマセヌカラ、專門ノ政府委員ニ説明サセタイト考ヘマス、結局公務員トナリマセウガ、公務員デナカラウガ、孰方ニシテモ罰ガ違ッテ居ル以上ハ此點ハ深ク攻究スル必要ハ無カラウト思ヒマス、何レニシテモ他ノ人ニ説明サセマス

○前田委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、次會ハ明日午前十時カラ始メマス  
午後零時十七分散會